



持続可能な地域経済の構築に向けた研究・教育活動

人文社会科学系研究科・法文学部 准教授 藤本 晴久

藤本研究室では、どのような農業経済や産業経済の在り方が、地域経済や地域社会の持続可能性を保障できるのかを研究しています。例えば、食料安全保障、食生活、生物多様性、自然資源や地域コミュニティなどを維持するための地域農業、また、人口減少や地域産業の縮小によって衰退している地域社会を活性化させる産業・企業のモデルに関する研究です。

教育活動では、これらの問題を地域経済論ゼミ（藤本ゼミ）の学生が、文献調査や、ディスカッションを通して学びます。毎年、法文学部法経学科経済分野のゼミナール合同でフィールドワーク（野外実習）を実施しています。調査先や地域に対する事前学習、ヒアリング、発表スライドや調査報告書の作成を通して、地域課題に関する理解を深めます。社会的課題の存在やその課題解決への対処方法を学びながら、持続可能な地域社会の形成に貢献できる主体的な人間になって欲しいです。

